

加古川市上下水道事業決算説明資料 (下水道事業)

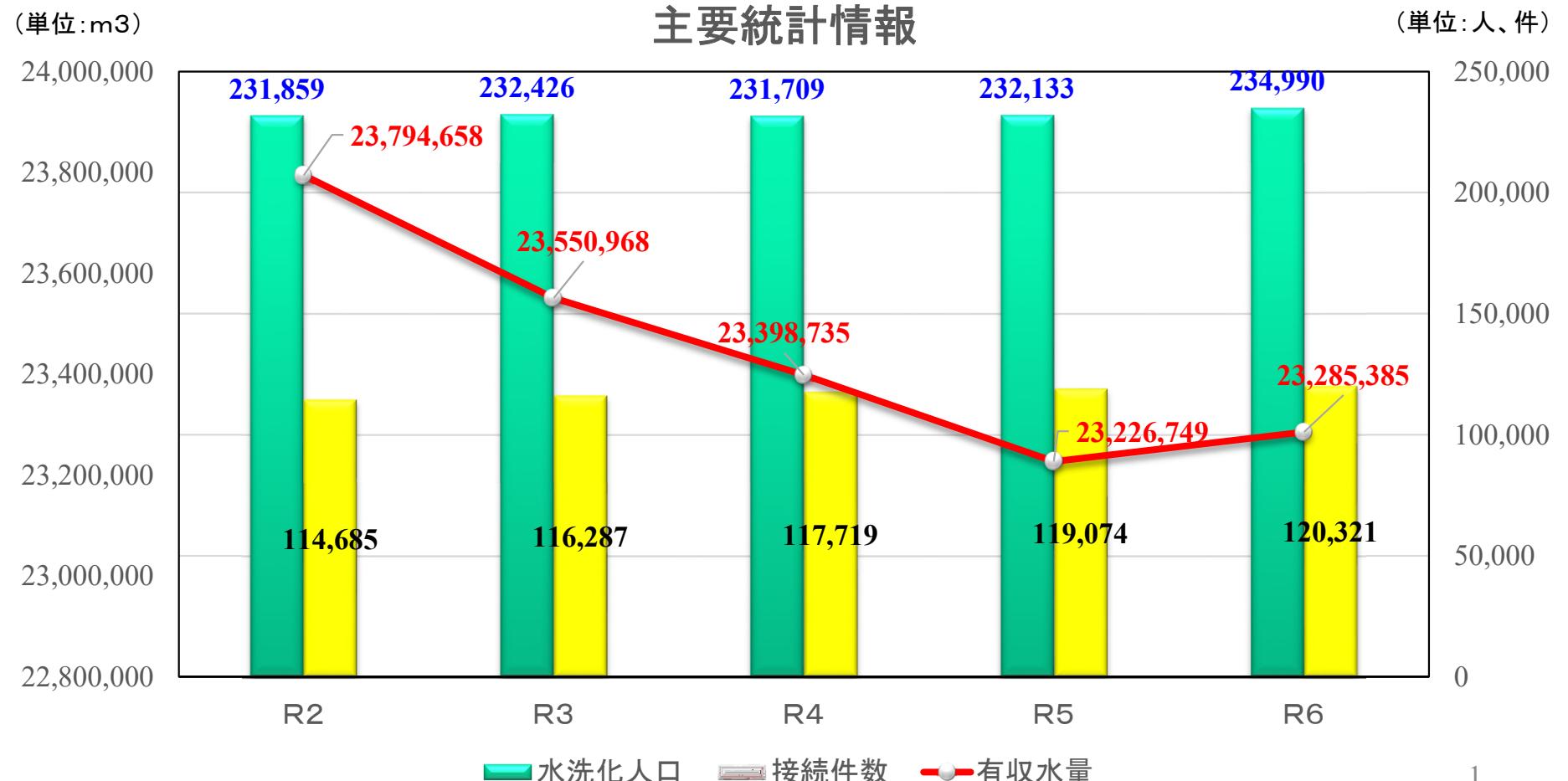
加古川市上下水道局





● 主要統計情報 ※()内は前年度

- ・水洗化人口 : **234,990人** (232,133人) + 2,857人 [+1.2%]
- ・接続件数 : **120,321件** (119,074件) + 1,247件 [+1.0%]
- ・有収水量 : **23,285,385m³** (23,226,749m³) + 58,636m³ [+0.3%]



1 -2 決算の概要

流域下水道維持管理負担金、
雨水管渠費、減価償却費等が
増加

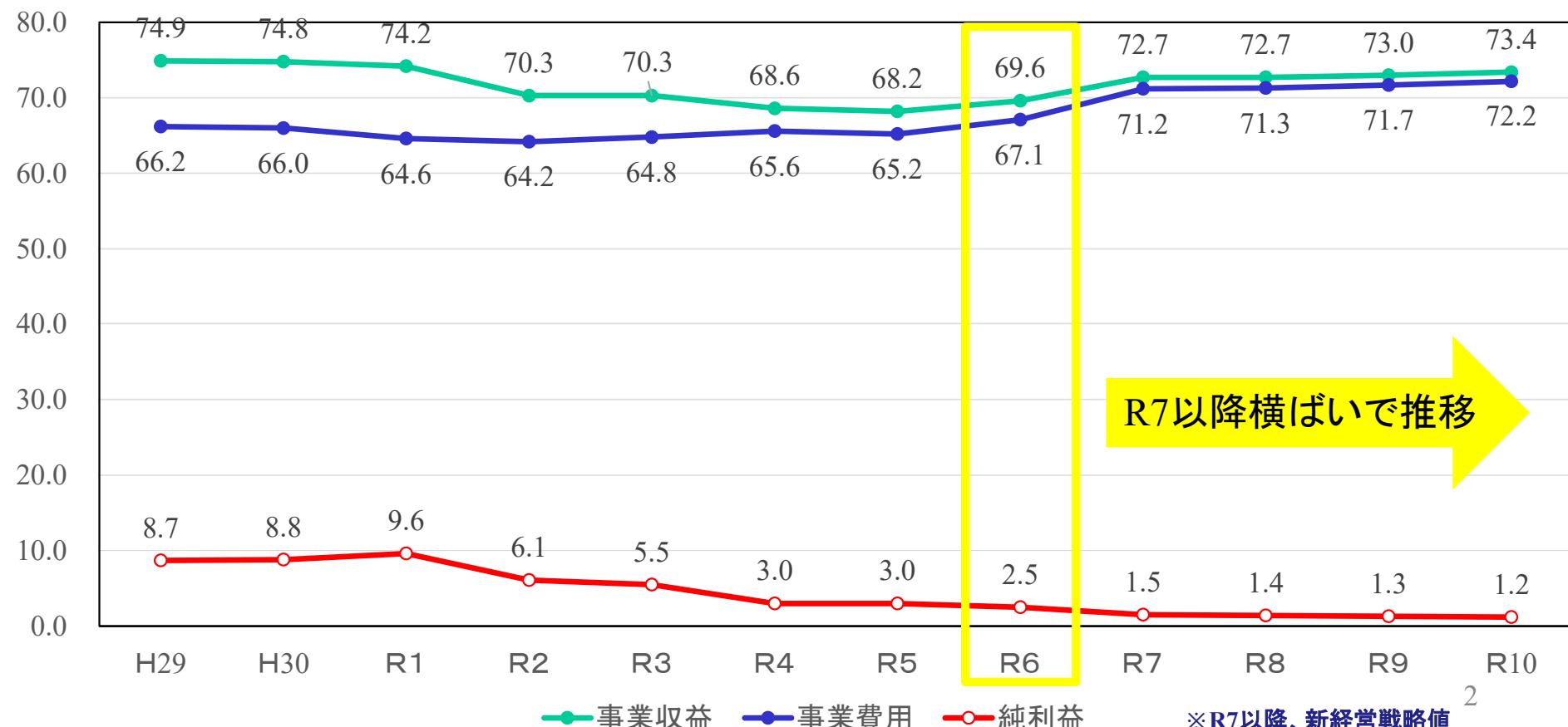
●下水道事業会計※()内は前年度

- ・事業収益 : **69億5,850万円** (68億1,562万円) + 1億4,288万円
- ・事業費用 : **67億 747万円** (65億1,847万円) + 1億8,900万円
- ・純利益 : **2億5,103万円** (2億9,715万円) △ 4,612万円



(単位:億円)

事業収益、事業費用、純利益の推移



2 事業収益

●事業収益総額 69億5,850万円(前年度比 +2.1%)

【主な増加要因】

○他会計負担金の増

○雑収益の増(流域下水道精算金の皆増)

+9,118万円(前年度比 + 9.0%)

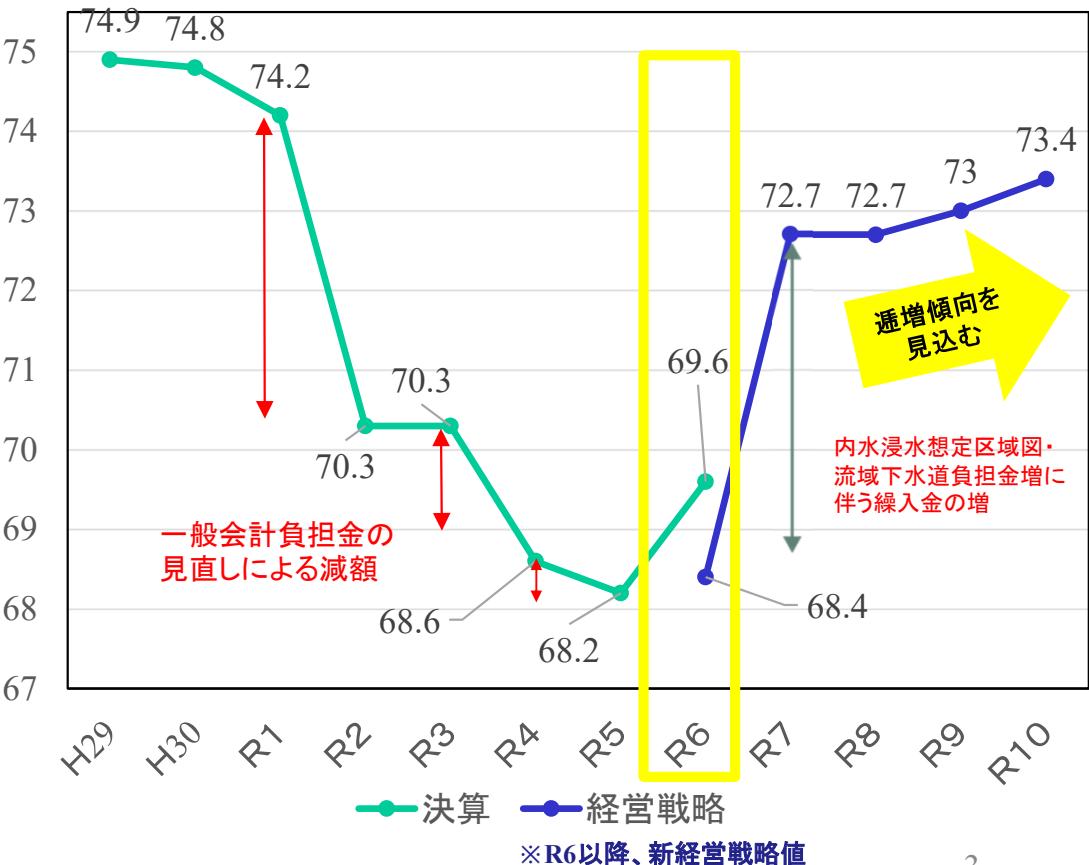
+4,957万円(前年度比 +486.1%)

(単位:百万円)

	6年度	5年度	増減
事業収益	6,959	6,816	143
営業収益	4,733	4,624	109
使用料	3,624	3,608	16
他会計負担金	1,107	1,015	92
その他の営業収益	2	1	1
営業外収益	2,225	2,191	34
受取利息及び配当金	1	1	0
他会計負担金	632	686	△ 54
雑収益	60	10	50
長期前受金戻入	1,505	1,484	21
補助金	27	10	17
特別利益	1	1	0
過年度損益修正益	1	1	0

事業収益の推移

(単位:億円)



3 事業費用

●事業費用総額 67億 747万円(前年度比 +2.9%)

【主な増加要因】

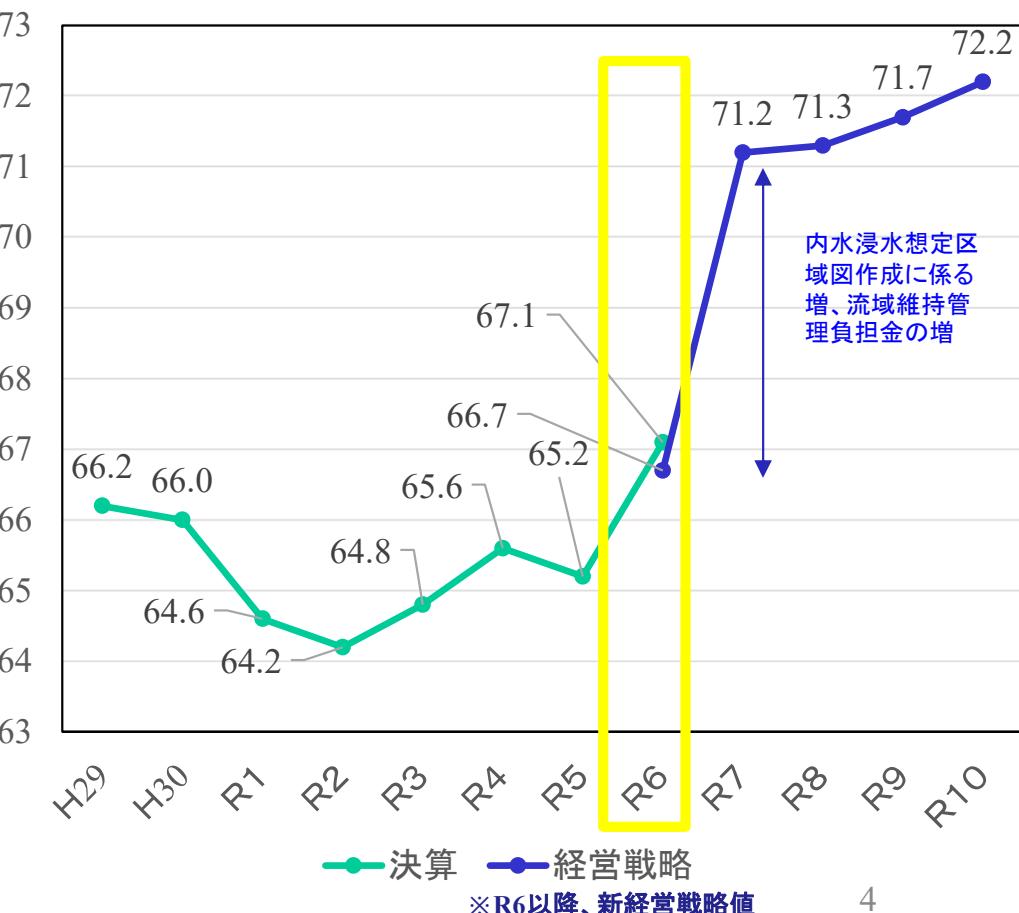
○流域下水道維持管理負担金の増(+7.7%)

(単位:百万円)

	6年度	5年度	増減
事 業 費 用	6,707	6,518	189
営 業 費 用	6,098	5,878	220
汚水管渠費	211	222	△ 11
雨水管渠費	92	35	57
污水ポンプ場費	159	151	8
雨水ポンプ場費	62	68	△ 6
処理場費	35	41	△ 6
流域下水道 維持管理負担金	1,330	1,235	95
受益者負担金 賦課徴収費	3	4	△ 1
水洗便所 普及促進費	5	5	0
業務費	181	179	2
総係費	159	125	34
減価償却費	3,857	3,808	49
資産減耗費	4	5	△ 1
	606	637	△ 31
	565	602	△ 37
	41	35	6
特 別 損 失	3	3	0
過 年 度 損 益 修 正 損	3	1	2
その他の特別損失	0	2	△ 2

事業費用の推移

(単位:億円)



4 資本的収支

●資本的収入 38億3,123万円(前年度 49億2,087万円) △10億8,964万円【△22.1%】

【主な増減要因】

- 企業債 : 起債対象事業費の減少に伴う減(△8億8,070万円)
- 補助金 : 国庫補助対象経費の減少に伴う減(△3億7,671万円)

●資本的支出 65億3,307万円(前年度 79億5,659万円) △14億2,352万円【△17.9%】

【主な増減要因】

- 建設改良費 : 建設改良費の減少に伴う減(△13億4,891万円)

(参考)主な事業費	雨水管渠築造費	雨水ポンプ場施設建設費
【R6】	5.3億円	0億円
【R5】	12.2億円	3.7億円
差	△6.9億円	△3.7億円

<企業債>

【概要】

公営企業の資金を調達するため発行されるもので、その元利償還金は主として当該企業の使用料収入等から支払われる。下水道事業については、下水道に係る建設改良費等及び用途廃止施設の処分に要する経費等を対象とするもの。

【充当率】

100%(上限)

5 -1 主な経営指標

経常収支比率 103.8

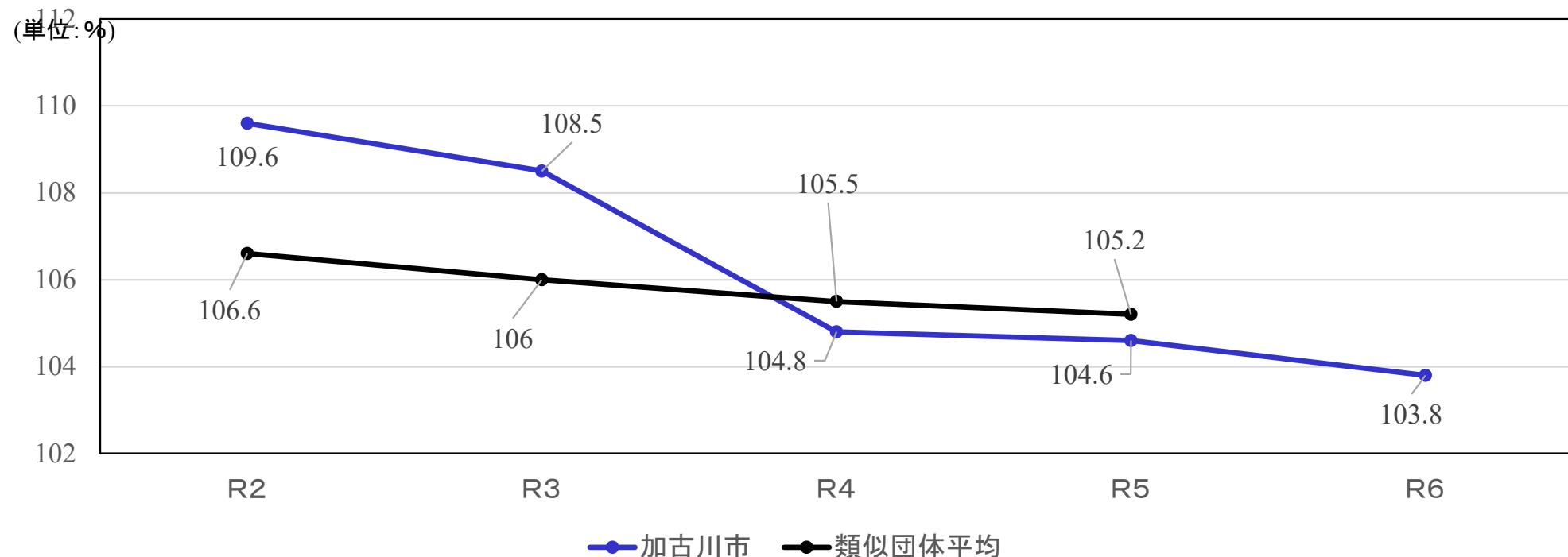
(R5類似団体平均(公共):105.2)

【算式】 経常収益／経常費用

●当該年度において、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。単年度の収支が黒字であることを示す
100%以上となっていることが望ましい。

●営業費用の増加により前年度と比べ、0.8ポイント悪化した。

経常収支比率の推移

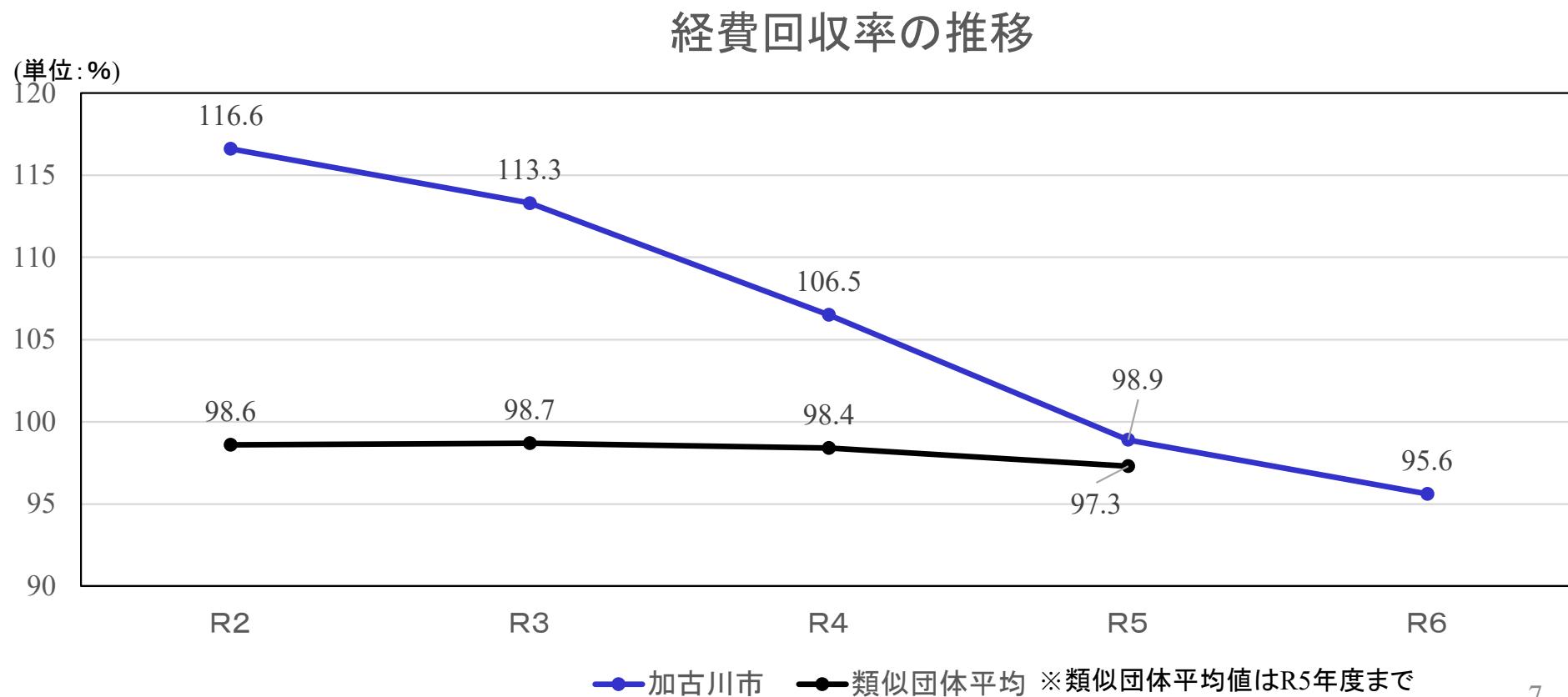


5-2 主な経営指標

経費回収率 **95.6** (R5類似団体平均(公共):97.3)

【算式】下水道使用料／汚水処理費

- **経費回収率が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が下水道使用料以外の収入で賄われていることを意味する。** 数値が低く、繰出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填しているような事業体にあっては、適切な使用料収入の確保が求められる。
- R6年度は流域下水道維持管理負担金や減価償却費の増に伴い、汚水処理原価が増。そのため、経費回収率が悪化。



5 -3 主な経営指標

使用料単価 **155.67円/m³**

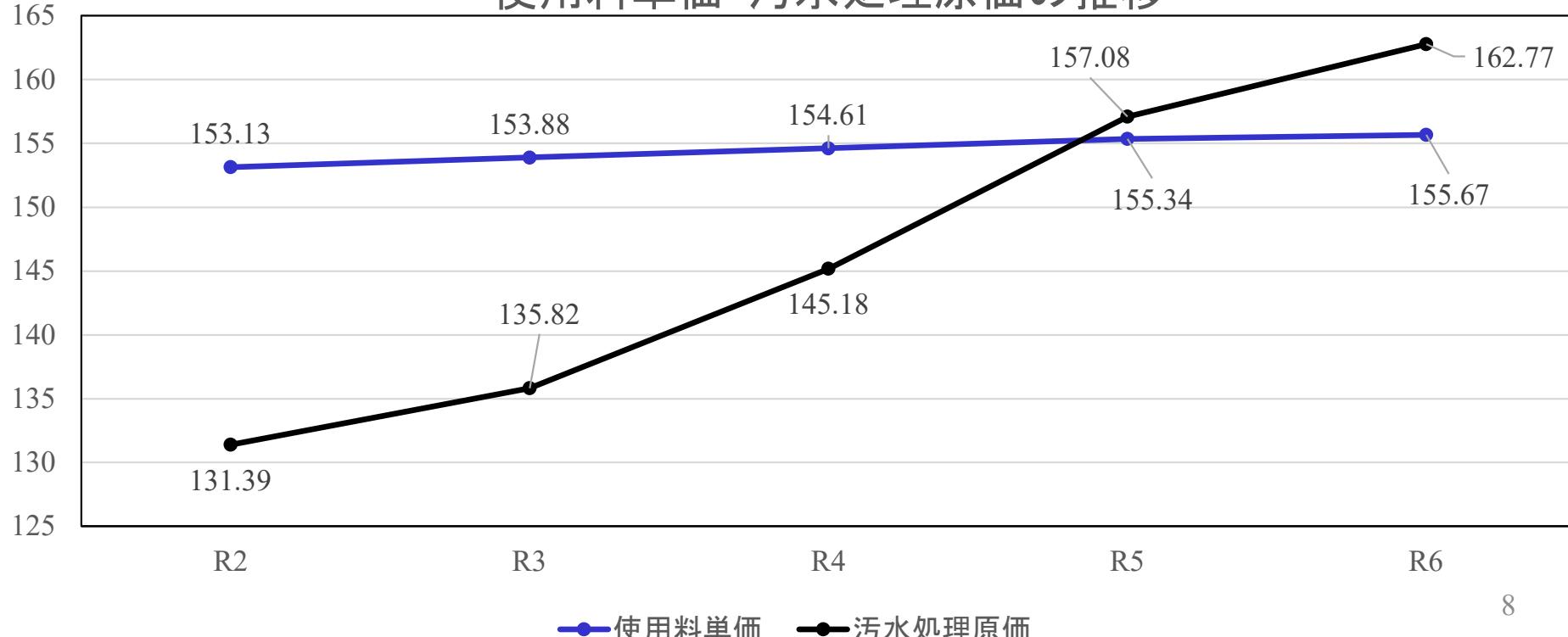
$$= \frac{\text{下水道使用料} 3,624,877,520\text{円}}{\text{有収水量} 23,285,385\text{m}^3}$$

汚水処理原価 **162.77円/m³**

$$= \frac{\text{汚水処理費} 3,790,046,156\text{円}}{\text{有収水量} 23,285,385\text{m}^3}$$

(単位:円/m³)

使用料単価・汚水処理原価の推移



5-4 主な経営指標

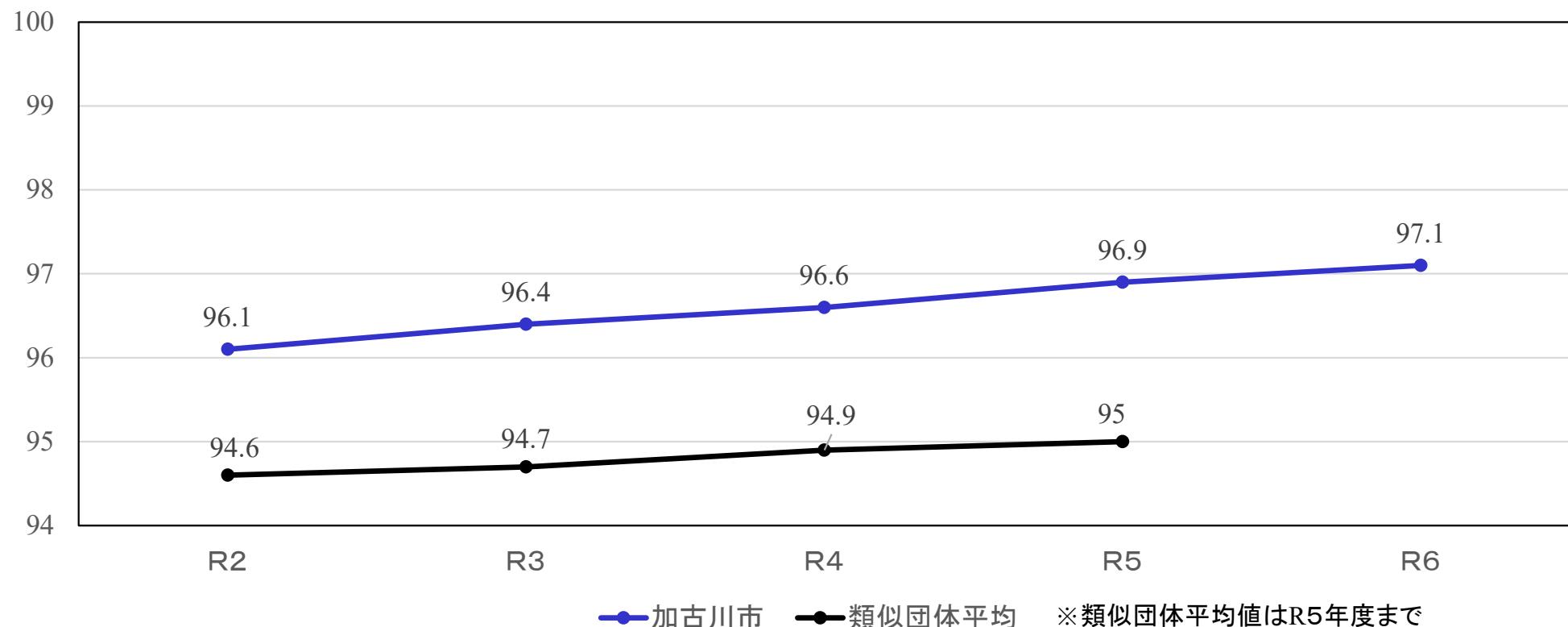
水洗化率 **97.1** (R5類似団体平均(公共):95.0)

【算式】現在水洗便所設置済人口／現在処理区域内人口

- 公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましい。
- 前年度と比べ、0.2ポイント増加した。

(単位:%)

水洗化率の推移



5-5 主な経営指標

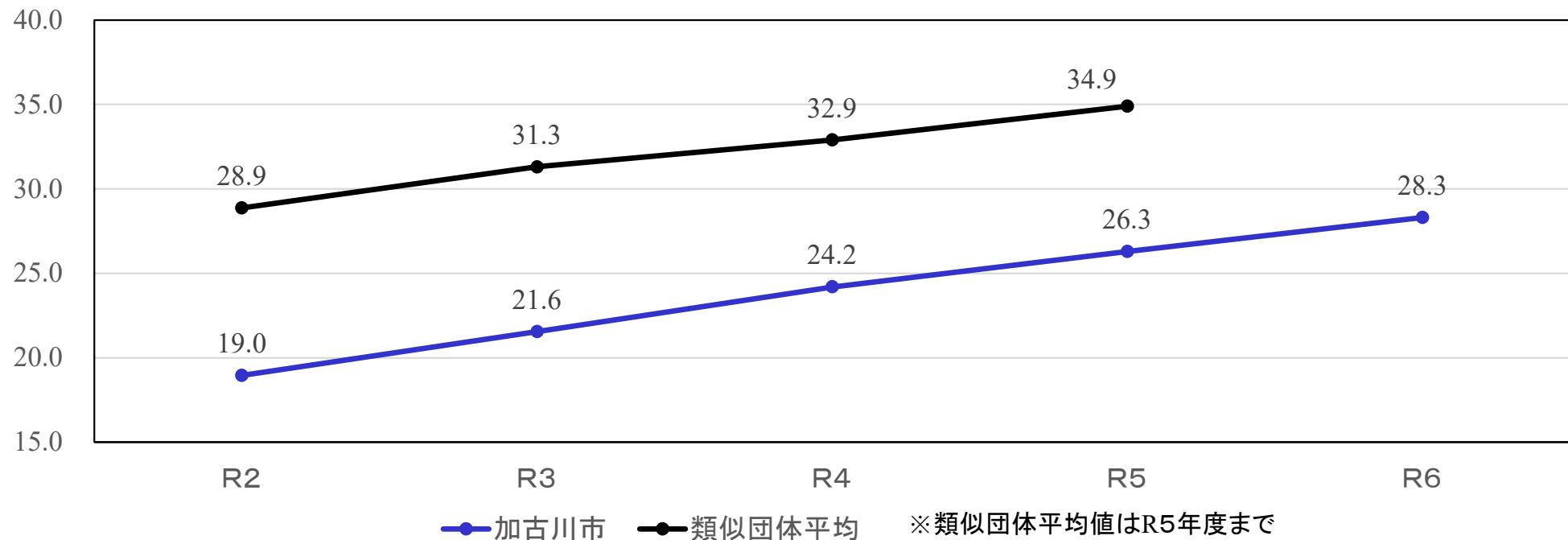
有形固定資産減価償却率 **28.3** (R5類似団体平均:34.9)

【算式】有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価

- 数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。
- 減価償却が進んだことにより前年度と比べ、**2.0ポイント増加**した。

(単位:%)

有形固定資産減価償却率の推移



5 -6 主な経営指標

企業債残高 約 410.2億円

当年度償還高(約41.4億円)が当年度発行額(約26.6億円)を上回っているため、前年度と比べ、
約14.8億円減少した。

積立金残高 約 17.8億円

4条収支の不足額(資本的収入額が資本的支出額に不足する額)に対し、建設改良積立金1.0億円、減債積立金1.5億円を補てん。当期純利益を建設改良積立金へ1.0億円、減債積立金へ1.5億円積立。
⇒積立金は前年度と同程度を維持した。

<建設改良積立金残高>

R5年度決算認定後残高	1,284,150,696円
R6年度補てん額	△103,000,000円
R6年度積立額	101,031,186円
R6年度決算認定後残高	1,282,181,882円

<減債積立金残高>

R5年度決算認定後残高	500,467,422円
R6年度補てん額	△150,000,000円
R6年度積立額	150,000,000円
R6年度決算認定後残高	500,467,422円

6 - 1 下水道ビジョン2028の進捗

快適



下水道普及率の向上

- 下水道普及率: 目標値 95.5%
⇒現状: 94.2% (+1.5)
- 生活排水処理率: 目標値 100%
⇒現状: 97.8% (+1.5)



良質な水環境の確保

- 水洗化率: 目標値 100%
⇒現状: 97.1% (+0.2)

6-2 下水道ビジョン2028の進捗

安心



災害への備え

- ・雨水整備率:目標値 51%
⇒現状:50.1% (+0.2)
- ・ポンプ場の耐震評価診断:目標値 実施
⇒現状:一部実施
- ・上下水道BCPに基づく訓練の実施回数:目標値 2回以上/年
⇒現状:2回(±0)



管渠・施設の機能維持

- ・管渠の巡視点検の実施回数:目標値 2回以上/10年間
⇒現状:1回/5年間の距離の巡視点検を実施
- ・陥没事故件数:目標値 0件
⇒現状:0件(±0)

6-3 下水道ビジョン2028の進捗

持続



持続可能な経営

- ・ 経常収支比率: 目標値 100%以上
⇒現状: 103.8% (△0.8)
- ・ 経費回収率: 目標値 100%以上
⇒現状: 95.6% (△3.3)



お客さまとのコミュニケーション

- ・ 広報誌発行回数: 目標値 2回/年
⇒2回/年(±0)
- ・ アンケートの実施: 目標値 定期的に実施
⇒2回/年(±0)